

実データに基づく構造設計・建造・運航の革新に向けて
—船体構造デジタルツイン Phase-1 研究開発報告—
プログラム

2020年2月10日(月) 13:30-17:30

於：赤坂インターシティコンファレンス4階 the AIR

13:00 開場・受付

13:30-13:35 開会挨拶

一般財団法人 日本船舶技術研究協会

常務理事 佐伯誠治

13:35-13:50 船体構造デジタルツインコンセプトとプロジェクトの趣旨

超高精度船体構造デジタルツインの研究開発委員会 委員長

大阪大学大学院 工学研究科 地球総合工学専攻 船舶海洋工学部門

教授 藤久保昌彦 様

13:50-14:20 基調講演：デジタルライゼーションと海事社会の未来

国立研究開発法人 海上・港湾・航空技術研究所

理事長 大和裕幸 様

14:20-14:45 講演1：状態を知る～リアルデータとシミュレーションの融合～

東京大学大学院 新領域創成科学研究科 海洋技術環境学専攻

教授 村山英晶 様

14:45-15:10 講演2：再現する～水槽実験による船体構造デジタルツインの精度検証～

国立研究開発法人 海上・港湾・航空技術研究所 海上技術安全研究所

構造安全評価系 構造解析グループ長 岡正義 様

15:10-15:25 休憩

15:25-15:50 講演3：予測する～ベイズ統計の船体構造デジタルツインへの応用～

大阪大学大学院 工学研究科 地球総合工学専攻 船舶海洋工学部門

教授 大沢直樹 様

大阪大学大学院 工学研究科 地球総合工学専攻 船舶海洋工学部門

助教 辰巳晃 様

15:50-16:15 講演4：価値を生み出す～システムズアプローチによる船体構造デジタルツイン
の社会実装の検討～

広島大学大学院 工学研究科 輸送・環境システム専攻

教授 濱田邦裕 様

横浜国立大学大学院 工学研究院 システムの創生部門

准教授 満行泰河 様

16:15-16:25 休憩

16:25-17:25 パネルディスカッション：船体構造デジタルツインの可能性と今後の展開
モデレータ：

大阪大学大学院 工学研究科 地球総合工学専攻 船舶海洋工学部門

教授 藤久保昌彦 様

パネリスト：

造船会社、海運会社、船級協会、学識者など

17:25-17:30 まとめと挨拶

大阪大学大学院 工学研究科 地球総合工学専攻 船舶海洋工学部門
教授 藤久保昌彦 様

- * 講演にはいずれも質疑応答時間を含みます。
- * 講演内容や講演順は都合により変更となる場合もございます。